

ニーズ調査の結果からみる傾向や課題について

資料 2

個別事例の検討へのニーズが高い。

→一次相談機関職員向け研修会では事例検討、グループワークを実施する。

研修会

市民は手続きの煩雑さにハードルを感じている。

→大規模な講演会ではなく地域巡回や少人数単位での相談会に注力。市民のみではなく関係機関へも周知。

地域巡回

チラシの内容はわかりやすいが字が小さい。

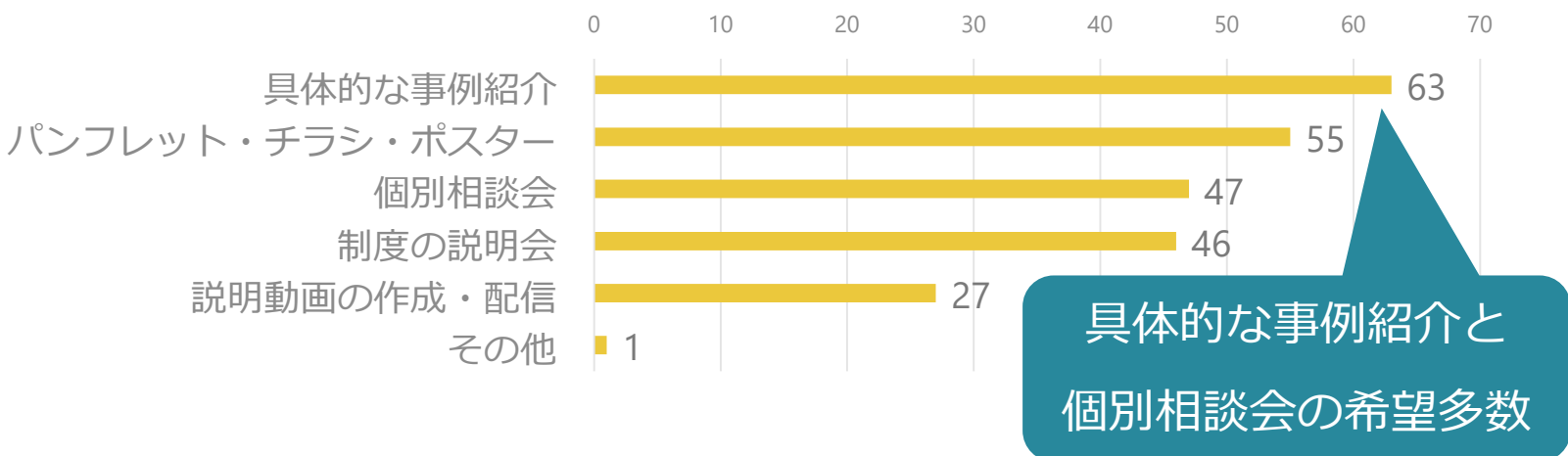
→内容はおおむね維持、見やすさを向上させる。配布対象は本人・家族を想定。

チラシ

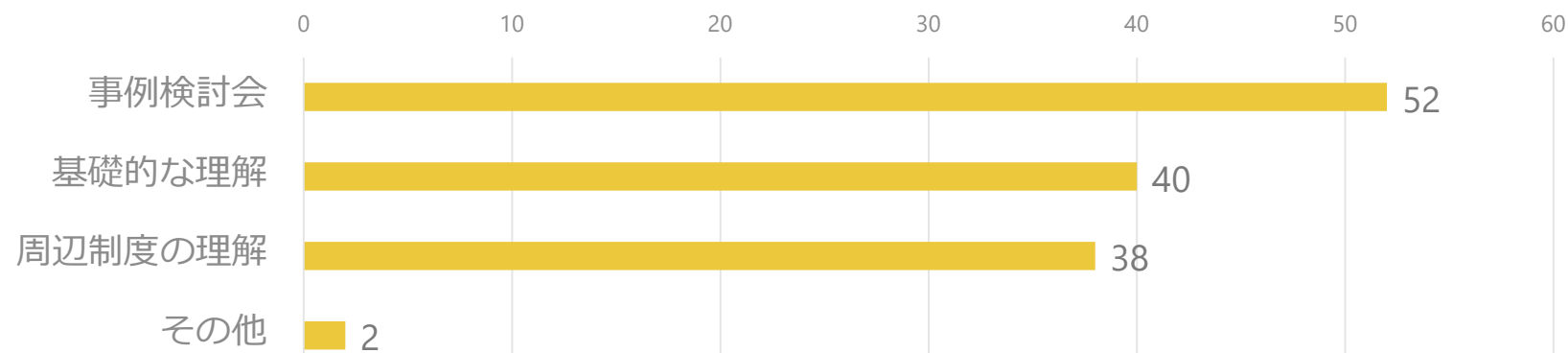
研修会

- 広報の方法として「具体的な事例の紹介」を希望する機関が半数以上。
- 学びたいこととして事例検討会を挙げる機関が約半数を占めた。

(7)どのような広報の方法を望まれますか。



(9)学びたいこと・テーマをご記入ください。



令和5年度の一次相談機関
職員向け研修会では

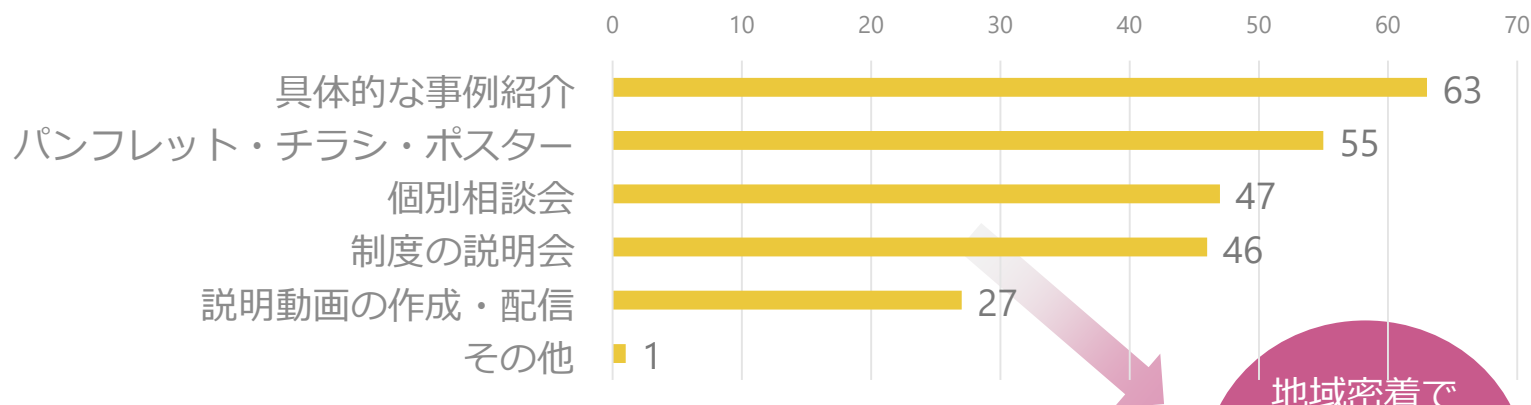
事例検討
グループワーク

の実施を検討。

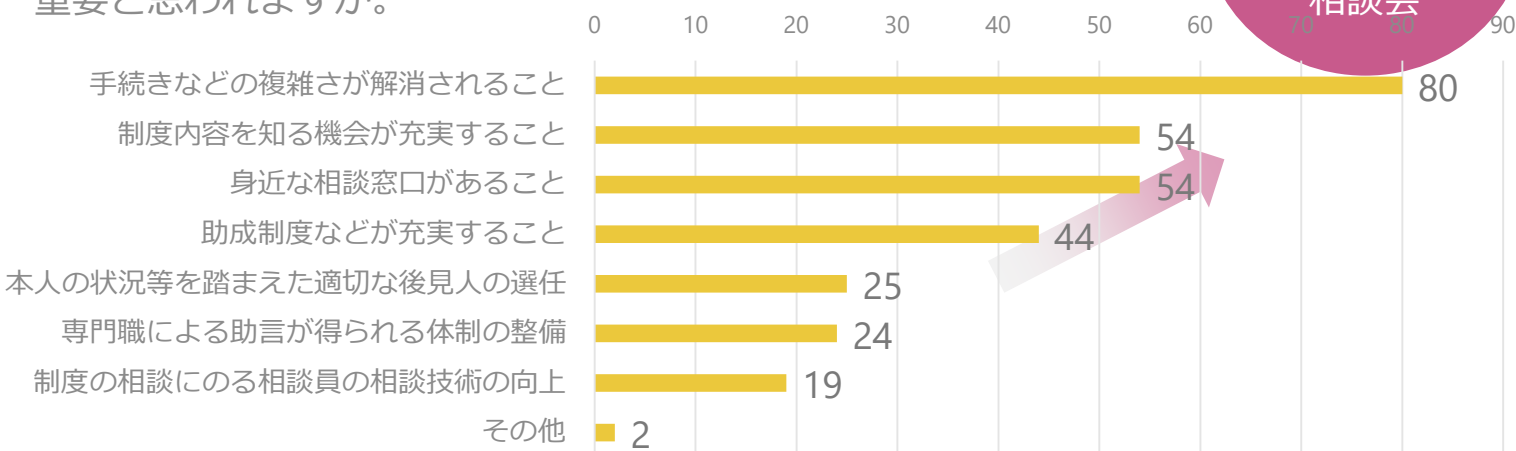
地域巡回

- 「後見制度が利用しやすくなるには身近な相談窓口があること」と約半数が回答。
- 令和5年度より地域巡回講演会・個別相談会を開始した。

(7)どのような広報の方法を望まれますか。



(8)市民の方が成年後見制度を利用しやすくなるにはどのようなことが重要と思われますか。



✓ 地域巡回で少人数単位の相談会に注力

市民は手続きの煩雑さにハードルを感じていると思われること、身近な相談窓口への要望があることを踏まえ、大規模な講演会ではなく今年度開始した地域巡回講演会・個別相談会を活用し少人数単位の相談会に注力する。

✓ 関係機関へも周知

関係機関からも個別相談会、制度の説明会の希望が挙がっていることを踏まえ、地域巡回講演会・個別相談会を市民のみならず関係機関へも周知し、参加を募る。